学修支援の概要

学部	制度	説明
文学部	マイデザイン支援システム	文学部では、将来設計（マイデザイン）や進路に関する各種相談、履修・学修アドバイスを実施しています。1年生に対しては「進路相談システム」と呼ばれ、教員が班ごとに分担しています。また、2年生以上については演習またはゼミ教員がアドバイザーとなります。「進路相談システム」および「オフィス・アワー」についての詳細は、年度始めにALBOでお知らせします。※オフィス・アワーとは、研究室をたずねて教員に相談することのできる時間帯を、あらかじめ知らせておく制度で、直接伺ってもよい場合やメールや電話で予約をしてから伺う場合があります。
	履修アドバイス制度	マイデザイン支援システムの一環として「履修アドバイス制度」を教務課にて実施しています。学修における数値目標として「総修得単位数」および「GPA目標値」を示すとともに、修得単位が一定の基準を下回る学生に対し教務課にて面談をし、必要に応じて「マイデザイン支援システム」に掲げる担当教員と面談をします。詳細は学生便覧を参照してください。
国際学部	アカデミック・アドバイザー制度	担当教員が学習活動を中心に支援する担任制の「アカデミック・アドバイザー制度」を設けています。この制度は、GPA値・修得単位数の学修目標を示すとともに、成績が一定基準に達していない場合には、面談を実施する機能を有しています。詳細は学生便覧を参照してください。
	オフィス・アワー	詳細については、学部ガイダンスで説明、または学部ホームページを参照。
国際英語学部	履修・学修アドバイザー制度	「履修・学修アドバイザー制度」を導入しています。成績評価、単位修得状況が一定の基準を下回る学生に①アドバイスを与え、②さらなる学修意欲の促進を期待し、③成績向上を目指すものです。 この制度は、主に担任またはゼミ担当教員によって運営されます。詳細は学生便覧を参照。
	オフィス・アワー	詳細については、学部ガイダンスで説明、または学部ホームページを参照。
	担任制度 ＜国際学専攻のみ＞	教員が授業外で一定数の学生を担任として受け持ち、大学生活に要する各種の指導を行うことを基盤とします。 1年次と2年次は、名簿順にもとづいてグループ分けを行い専攻所属の教員が担当します。 3年次と4年次はゼミ（国際学演習Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ）担当教員によって運営されます。グループごとに定期的なミーティングをもち、問題点の把握と解消につとめます。

学修支援の概要

学部	制度	説明
国際教養学部	履修・学修アドバイザー制度	国際教養学部では、「演習Ⅰ～Ⅵ」の担当教員が学修活動を中心に支援する「履修・学修アドバイザー制度」を設けています。この制度は、GPA値・修得単位数の学修目標を示すとともに、成績が一定基準を下回った場合は、面談を実施する機能を有しています。単位修得だけでなく、GPA(学修の質)の向上にも取り組むよう心がけて下さい。実施基準・実施内容は学生便覧を参照。
	オフィス・アワー	オフィス・アワーの詳細は学部ホームページを参照。
心理学部	オフィス・アワー	心理学部では、学部の教員がみなさんの学習について相談に応えるためオフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話しをすることはもちろんできますが、研究室等においてきめ細かい対応や指導を受けることもできます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので詳細はシラバスを確認して下さい。
	クラス担任制度	1年次開講科目「アカデミック・スキルズ、心理学講読演習A」の担当教員がクラス担任の役割を果たします。学生生活上の諸問題について遠慮なく相談して下さい。
	履修・学修アドバイザー制度	心理学部では、成績不振学生に対して履修登録や学修方法、現在の成績(GPA含む)や将来の目標などについて指導を行い、学生の学修意欲を向上させ、成績の底上げを図ることを目的としています。実施基準・内容の詳細は学生便覧を参照して下さい。
現代社会学部	オフィス・アワー	現代社会学部では、学部の教員がみなさんの学習について相談に応えるためオフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話しをすることはもちろんできますが、研究室等においてきめ細かい対応や指導を受けることもできます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので各教員に確認をして研究室を訪問して下さい。
法学部	オフィス・アワー	法学部は、特にオフィスアワーの時間を定めていません。それぞれの教員が、各科目のシラバスに記載している方法で質問等に対応しています。自分から積極的に働きかける姿勢を大切にしていますので、質問等がある時は自分から教員に働きかけてください。学生からの働きかけは歓迎します。
	履修・学修相談	法学部では「履修・学修相談」を実施します。単位の修得状況が著しく悪い場合、一定の基準によりALBOで「履修相談」の実施を通知しますので、決められた期間に教務課で面談を受けて下さい。その後、希望に応じて教員との「学修相談」を設定します。また、必要な場合は適切な相談部署を紹介します。順調に単位を修得するように励んで下さい。「履修相談」実施の基準は学生便覧を参照。

学修支援の概要

学部	制度	説明
総合政策学部	オフィス・アワー	総合政策学部では、教員が研究室などで学生の学修相談などにきめ細かく応えるオフィス・アワーを設けています。オフィス・アワーの詳細は、学部ホームページに記載されています。
	学修相談	総合政策学部では、単位の取得状況が一定基準に満たない場合、プロジェクト研究担当教員又は教務担当教員が「学修相談」を実施します。
経済学部	履修相談会・履修アドバイス	経済学部では年度初頭に「履修相談会・履修アドバイス」を実施しています。特に1～3年生においては「履修相談会・履修アドバイス」を受けることが義務付けられています。履修アドバイザー（経済学部教員）が「履修相談シート」を用いて学生のみなさんの単位修得状況や履修状況をチェックし、適切なアドバイスを行います。詳細は、学生便覧を参照。
	オフィス・アワー	経済学部では、学部の教員がみなさんの学習についての相談に応えるために、オフィス・アワーという制度を設けています。それぞれの教員が各科目のシラバスに記載している方法で質問等に対応しています。オフィス・アワーを活用する際は、シラバスで時間帯や事前連絡の有無、方法等を確認してください。
経営学部	履修・学修アドバイザー制度	経営学部では、「履修・学修アドバイザー制度」を実施しています。これは、みなさんが学修目標をもって大学生活を過ごすこと、並びに4年間での卒業へ向けて適切なアドバイスを行うことを目的としています。実施基準・内容の詳細は学生便覧を参照。
	オフィス・アワー	経営学部では、学部の教員がみなさんの学修について相談に応えるためオフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話しをすることはもちろんできますが、研究室等においてきめ細かい対応や指導を受けることもできます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので詳細は経営学部ホームページを確認して下さい。

学修支援の概要

学部	制度	説明
工学部	オフィス・アワー	工学部では、学部の教員がみなさんの学習についての相談に応えるために、オフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話することはもちろんですが、研究室等においてきめ細かい対応や指導をうけることも出来ます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので、詳細はCHUKYO MaNaBoに掲載されている各教員のシラバス、又は学部サイトを確認してください。
	履修・学修アドバイザー制度	工学部では、「履修・学修アドバイザー制度」を実施しています。本制度は、成績評価や単位取得状況が一定の基準に満たない学生に①アドバイスを行い、②学修意欲の促進を期待し、③成績向上を目指すものです。実施基準・内容の詳細は学生便覧を参照。
	学修相談窓口	工学部では、履修や単位修得について相談を希望する学生に対して、学修ケアを行っております。相談は、教務センターまたは、学生ケア委員（学部教員）が対応いたします。学生ケア委員（学部教員）は、主に下記のような活動を行います。 【学生ケア委員の主な活動】 1. 単位修得に問題があり、GPAの低い学生に対する相談窓口 （個別指導を行う場合もあります） 2. 授業等に関する相談窓口 （日常学習での質問を受けたり、専門分野の教員紹介など） 3. 学生生活に関する相談窓口 （関係部門への紹介も行います） ※各学科の学生ケア委員（学部教員）は、教務センターで確認して下さい。
スポーツ科学部	オフィス・アワー	オフィス・アワーは、学生諸君が授業内容等について直接担当の教員を訪問し質問や相談ができる時間帯です。専任教員は毎週最低1回（1～1. 5時間）はこのオフィス・アワーを開設していますので、是非利用して下さい。開設の曜日や時間帯は各教員ごとに異なりますので、14号館1Fスポーツ科学部事務室に問い合わせて下さい。シラバスやスポーツ科学部ホームページ（教員紹介欄）にても確認ができます。
	成績不振学生に対する学修指導	単位の修得状況等が著しく悪い場合、一定の基準に則り学修指導を実施します。実施方法等は対象者にALBOで通知します。通知を受けて場合、必ず対象者説明会に出席して下さい。本学修指導の対象とならないように勉学に励んで下さい。学修指導対象基準は学生便覧を参照。